



# こもろの時間

図 学校教育課  
学校教育係

17時限目

## 部活動の地域移行

### 部活動の地域移行を進めていきます

少子化の進展や学校の働き方改革を背景に、子どもたちのスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を生涯にわたって確保し、「地域の子どもは、学校を含めた地域で育てる」という考えのもと部活動改革「部活動の地域連携・地域移行」が全国の中学校で進められています。

「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」（スポーツ庁・文化庁2023）では、令和7年度（長野県では令和8年度）までを「改革推進期間」と位置づけ、休日の部活動を地域クラブ活動へ移行することを目指しています。小諸市も子どもたちにとって望ましい部活動となるよう、関係者と協力しながら、取り組みを進めていきます。

■これまでの部活動のカタチ

平日	休日
学校部活動	

■これからの部活動のカタチ(令和8年度末を目途に)

平日	休日
学校部活動	地域クラブ

※平日の部活動については、休日の部活動地域移行の状況を見て改革を行う。

休日は学校部活動と切り離す

8月1日(木) 晴れ ☀️ 日直 こもろん

アンケート調査を実施しました

小諸市では、部活動の地域移行に向けて課題把握や対応の方向性を検討するにあたり、その基礎データとなるアンケート調査を実施しました（R5年度実施）。

■対象：市内小学校5・6年生、中学校1・2年生、中学1・2年生の保護者、中学校の教師

アンケート結果については市公式HP等で今後公表予定です。またこれらの結果を基に、国・長野県より示されているスケジュールに準拠し、令和8年度末の移行に向けて、協議会の設置、推進計画の策定等を行う予定です。

【アンケートによる中学生の声】

「休日の部活」を地域が行うことについて期待することはありますか

技術や体力が向上できる	33.40%
専門的な指導が受けられる	28.40%
楽しく活動ができる	20.60%
自分の都合で参加できる。(参加日数や時間)	15.60%
他校の生徒と交流したり、違う年代の人と交流や練習ができる	14.80%
より高いレベルで大会やコンクールに参加できる	12.80%
学校部活動にない種目に取り組める	12.30%
設備や指導者の整った環境で練習ができる	7.50%
特になし	20.90%